

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	実務教養	授業科目名	P Cスキル		
所属	公務員速修学科	開講期間	1 年次 後期		
授業方法	実習	単位数	2	対応 D P	1
担当講師	玉山雄也	一般教員	分類	選択	
〔授業のねらい・概要〕					
・Windowsパソコン及びExcelの基本的な操作ができるようになる。					
〔到達目標〕					
・パソコンの基本操作ができるようになる。Excelが使えるようになる。検定試験合格(70/100で合格)。					
〔成績評価の方法・基準〕					
・受講態度 (100%)					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
授業計画・内容					
1～22 時間	Excel基礎: Excelの基本、データ編集、表編集、グラフ、関数、データベース				
23～44 時間	Excel応用: 関数、グラフ、データベース、データ分析、マクロ				
45～56 時間	Excel問題演習				
57～60 時間	Excel検定				
〔教材・テキスト等〕					
・レジュメ ・問題集					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	実務教養	授業科目名	総合実践		
所属	公務員速修学科	開講期間	1 年次 前期		
授業方法	実習	単位数	1	対応DP	2、5
担当講師	玉山雄也	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕					
・集団活動を通じて、組織における自身の役割を正しく理解し、周囲と協調しながら主体的に行動する力を養う。 ・公務員試験・就職活動のプロセスを実践し、自己の課題を発見・解決しながら、万全な受験準備を整える。					
〔到達目標〕					
・集団の中で自身の役割を認識し、他者とコミュニケーションを図りながら、目標達成に向けて協力して行動できる。 ・受験先の研究やエントリーシート作成、面接練習を通じて自己分析を深め、自信を持って本番の試験に臨むことができる。					
〔成績評価の方法・基準〕					
・受講態度（80%） ・課題提出（20%）					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
授業計画・内容					
1～4 時間	オリエンテーション				
5～30 時間	グループワーク・就職活動準備				
〔教材・テキスト等〕					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備考〕					

(様式 1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	実務教養	授業科目名	簿記		
所属	公務員速修学科	開講期間	1 年次 後期		
授業方法	講義	単位数	3	対応 D P	1、3
担当講師	佐々木友香	一般教員	分類	選択	
〔授業のねらい・概要〕					
・小規模企業における会計実務の基礎知識を習得し、経済に関心を抱くようになるとともに、日商簿記検定3級の取得をする。					
〔到達目標〕					
・小規模株式会社における一般的な取引を仕訳できる。 ・財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の作成ができる。					
〔成績評価の方法・基準〕					
・受講態度（100%）					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
授業計画・内容					
1 ～ 3 時間	簿記の基礎（仕訳、記帳のルール）				
4～30 時間	期中取引				
31～50 時間	決算整理				
51～60 時間	補助簿、勘定記入、証票、伝票				
61～90 時間	模擬試験 演習				
〔教材・テキスト等〕					
・TAC出版「よくわかる簿記シリーズ 合格テキスト」 ・TAC出版「よくわかる簿記シリーズ 合格トレーニング」					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	実務教養	授業科目名	危険物		
所属	公務員速修学科	開講期間	1 年次 後期		
授業方法	講義	単位数	3	対応DP	1
担当講師	玉山雄也	一般教員	分類	選択	
〔授業のねらい・概要〕					
・日本の産業や国民の生活を支える石油類をはじめとした「第4類危険物」に関する基礎知識を体系的に習得し、国家資格である「危険物取扱者乙種第4類」の試験合格を目指す。					
〔到達目標〕					
・危険物に関する法令（消防法）の基本原則を理解し、保安規制や義務について正しく説明できる。					
・基礎的な物理学および化学の知識に基づき、燃焼・消火の理論や、第4類危険物の火災予防・消火方法を説明できる。					
・第4類危険物の具体的な品名（ガソリン、軽油等）の性質・状態、およびそれらの取扱方法を正しく識別できる。					
〔成績評価の方法・基準〕					
・受講態度（100%）					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
授業計画・内容					
1 ～ 2 時間	ガイダンス&消防法上の危険物とは				
3～32 時間	法令				
33～52 時間	物理・化学				
53～62 時間	性質・消化				
63～90 時間	模擬試験 演習				
〔教材・テキスト等〕					
・レジュメ					
・プリント					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備考〕					

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	自己研究	授業科目名	地域課題研究		
所属	公務員速修学科	開講期間	1 年次 前期		
授業方法	演習	単位数	1	対応 D P	1
担当講師	玉山雄也	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 ・地域の現状について調べ、地域をよりよくするためにどのような課題があるか考えられるようになる。また、その課題を解決するために必要なことは何かを把握できるようになる。					
〔到達目標〕 ・地域における課題分析に必要なことを理解し、自ら分析できる。 ・受験先における現状分析・課題に対する解決策を自ら考えることができる。					
〔成績評価の方法・基準〕 ・受講態度（80%） ・課題提出（20%）					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
授業計画・内容					
1 ～ 8 時間	行政職 職場体験				
9～12 時間	行政職 講話				
13～20 時間	公安職 職場体験				
21～24 時間	公安職 講話				
25～30 時間	受験先研究				
〔教材・テキスト等〕					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					

(様式 1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	自己研究	授業科目名	卒業研究		
所属	公務員速修学科	開講期間	1 年次 後期		
授業方法	演習	単位数	1	対応 D P	1
担当講師	玉山雄也	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕					
・地域や社会を明るい将来にするための方策をこれまで培ってきた知識や経験をもとにアイデアを生み出し、具現化できるようになる。					
〔到達目標〕					
・地域課題、社会問題に関心を持ち、主観的な解決案を考えることが出来る。 ・客観的なデータ等を調査した上で、主観的な方法で思いついた解決策が適切であるのか判断できる。					
〔成績評価の方法・基準〕					
・受講態度（80%） ・プレゼンテーション（20%）					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
授業計画・内容					
1 ～ 2 時間	テーマ選択				
3 ～ 14 時間	テーマ研究・フィールドワーク				
15 ～ 16 時間	中間報告会				
17 ～ 28 時間	テーマ研究・フィールドワーク・プレゼンテーション準備				
29 ～ 30 時間	プレゼンテーション（最終報告会）				
〔教材・テキスト等〕					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	社会科学	授業科目名	政治		
所属	公務員速修学科	開講期間	1 年次 前期		
授業方法	講義	単位数	1	対応 D P	1、3、5
担当講師	柳谷知宏	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕					
・原理や仕組みを学習することで、社会の諸課題を把握することができ、公務員試験問題にも対応できるようになる。					
〔到達目標〕					
・民主政治の原理・仕組み、国際社会における日本の現状を把握し、基本事項について説明することができる。					
・基本事項を理解することで、日本社会や国際関係における諸課題について説明することができる。					
〔成績評価の方法・基準〕					
・定期試験（80%）					
・受講態度（20%）					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
授業計画・内容					
1～19 時間	現代の政治 ～民主政治の基本原理と日本国憲法～				
20～24 時間	現代の政治 ～国際政治～				
25～30 時間	問題演習				
〔教材・テキスト等〕					
・実務教育出版社会科学テキスト類一式					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	社会科学	授業科目名	経済		
所属	公務員速修学科	開講期間	1 年次 前期		
授業方法	講義	単位数	1	対応 D P	1、3
担当講師	井上雄	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕					
・原理や仕組みを学習することで、社会の諸課題を把握することができ、公務員試験問題にも対応できるようになる。					
〔到達目標〕					
・経済の原理・仕組み、国際社会における日本の現状を把握し、基本事項について説明することができる。					
・基本事項を理解することで、日本社会や国際関係における諸課題について説明することができる。					
〔成績評価の方法・基準〕					
・定期試験（80%）					
・受講態度（20%）					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
授業計画・内容					
1～19 時間	現代の経済 ～現代経済の仕組みと特質～				
20～24 時間	現代の経済 ～国民経済と国際経済～				
25～30 時間	問題演習				
〔教材・テキスト等〕					
実務教育出版社会科学テキスト類一式					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	社会科学	授業科目名	社会科学演習		
所属	公務員速修学科	開講期間	1 年次 前期		
授業方法	演習	単位数	1	対応 D P	1、3、5
担当講師	柳谷知宏・井上雄	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 ・これまでに習得した社会科学2科目（政治・経済）の基礎知識を基盤とし、過去問や実践的な問題の演習と解説を繰り返すことで、試験に対応できる応用力と得点力を養う。					
〔到達目標〕 ・社会科学2科目の重要語句や基本概念を正確に理解し、各自の弱点を克服できる。 ・出題傾向を把握し、限られた時間内で各科目の演習問題を的確に解くことができる。					
〔成績評価の方法・基準〕 受講態度（100%）					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
授業計画・内容					
1～10 時間	政治問題演習				
11～20 時間	経済問題演習				
〔教材・テキスト等〕 ・実務教育出版社会科学テキスト類一式 ・プリント					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	人文科学		授業科目名	世界史		
所属	公務員速修学科		開講期間	1 年次 前期		
授業方法	講義		単位数	1	対応 D P	1
担当講師	鱈沢智美	一般教員	分類	必修		
〔授業のねらい・概要〕 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事情について、地理的条件などと関連付けながら理解する。 ・事象の意味や意義、特色などについて、時期や年代、推移、比較、相互の関連などを理解する。						
〔到達目標〕 ・時代の流れを正しく理解し、関連事項を記憶することで幅広い教養を身につけ公務員試験問題に対応できるようになる。						
〔成績評価の方法・基準〕 ・定期試験（80%） ・受講態度（20%）						
〔授業時間外に必要な学修内容〕						
授業計画・内容						
1～ 4 時間	古代、ギリシャ世界とローマ帝国					
5～10 時間	中世ヨーロッパ、近世ヨーロッパ					
11～16 時間	中国史					
17 時間	イスラム世界					
18～21 時間	市民革命					
22～25 時間	ヨーロッパ諸国の東進					
26～29 時間	現代社会					
30 時間	問題演習					
〔教材・テキスト等〕 ・実務教育出版人文科学テキスト類一式 ・レジュメ						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	人文科学		授業科目名	日本史		
所属	公務員速修学科		開講期間	1 年次 前期		
授業方法	講義		単位数	1	対応 D P	1
担当講師	鱈沢智美	一般教員	分類	必修		
〔授業のねらい・概要〕						
・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連つけながら総合的に捉えて理解する。						
〔到達目標〕						
・時代の流れを正しく理解し、関連事項を記憶することで幅広い教養を身につけ公務員試験問題に対応できるようになる。						
〔成績評価の方法・基準〕						
・定期試験（80％） ・受講態度（20％）						
〔授業時間外に必要な学修内容〕						
授業計画・内容						
1～ 5 時間	鎌倉時代					
6～10 時間	室町時代・安土桃山時代					
11～15 時間	江戸時代					
16～22 時間	明治時代					
23～29 時間	現代					
30 時間	問題演習					
〔教材・テキスト等〕						
・実務教育出版人文科学テキスト類一式 ・レジュメ						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	人文科学		授業科目名	地理		
所属	公務員速修学科		開講期間	1 年次 前期		
授業方法	講義		単位数	1	対応 D P	1、3
担当講師	畠山真司	一般教員	分類	必修		
〔授業のねらい・概要〕						
・世界各国の特徴を気候や地形、地誌の観点から理解し、公務員試験の問題にも対応できるようになる。						
〔到達目標〕						
・地理に関わる諸事象（気候、地形、文化、作物、地誌）を把握し、世界の諸地域の特色や課題を理解できる。						
・地理に関わる用語の意味だけでなく、世界地図上での位置や分布、場所まで理解することができる。						
〔成績評価の方法・基準〕						
・定期試験（80％）						
・受講態度（20％）						
〔授業時間外に必要な学修内容〕						
授業計画・内容						
1～3 時間	日本の地誌					
4 時間	時差、地図法					
5～8 時間	ケッペンの気候区分、土壌					
9～12 時間	地形					
13～27 時間	世界の地誌					
28～30 時間	問題演習					
〔教材・テキスト等〕						
・実務教育出版人文科学テキスト類一式						
・レジュメ						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	人文科学		授業科目名	国語		
所属	公務員速修学科		開講期間	1 年次 前期		
授業方法	講義		単位数	1	対応 D P	1、3
担当講師	土川律子	一般教員	分類	必修		
〔授業のねらい・概要〕						
・文章の読解及び漢字の読み書き、またそれがわからない場合の調べ方、求められるテーマに沿った作文ができるようになる。						
〔到達目標〕						
・漢字や熟語表現を調べて、増やす。文章を正しく理解する。論理的な文章を書ける。編集する。						
〔成績評価の方法・基準〕						
・定期試験（80%） ・受講態度（20%）						
〔授業時間外に必要な学修内容〕						
授業計画・内容						
1～6 時間	漢字の読み書き、ことばの意味の調べ方。文章読解。					
7～12 時間	漢字の読み書き、語彙力強化。文章の書き方。					
13～18 時間	漢字の読み書き、語彙力強化。評論文の読解。論理的な文章を書く。					
19～24 時間	漢字の読み書き、語彙力強化。小説文の読解。自己を表現する文章を書く。					
25～30 時間	漢字の読み書き、語彙力強化。作文の編集。小論文対策。					
〔教材・テキスト等〕						
・実務教育出版人文科学、一般知能テキスト類一式 ・プリント						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	人文科学		授業科目名	人文科学演習		
所属	公務員速修学科		開講期間	1 年次 前期		
授業方法	演習		単位数	1	対応 D P	1、3
担当講師	鱈沢智美・畠山真司 土川律子	一般教員	分類	必修		
〔授業のねらい・概要〕						
・これまでに習得した人文科学4科目（日本史・世界史・地理・国語）の基礎知識を基盤とし、過去問や実践的な問題の演習と解説を繰り返すことで、試験に対応できる応用力と得点力を養う。						
〔到達目標〕						
・人文科学 4 科目の重要語句や基本概念を正確に理解し、各自の弱点を克服できる。 ・出題傾向を把握し、限られた時間内で各科目の演習問題を的確に解くことができる。						
〔成績評価の方法・基準〕						
・受講態度（100%）						
〔授業時間外に必要な学修内容〕						
授業計画・内容						
1～ 8 時間	世界史問題演習					
9～16 時間	日本史問題演習					
17～23 時間	地理問題演習					
24～30 時間	国語問題演習					
〔教材・テキスト等〕						
・実務教育出版人文科学、一般知能テキスト類一式 ・プリント						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	自然科学	授業科目名	生物		
所属	公務員速修学科	開講期間	1 年次 前期		
授業方法	講義	単位数	1	対応 D P	1
担当講師	伊藤千雅	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 ・「生物基礎」の内容を原則として、多種多様な生物や生物現象に関する概念や規則性を理解し、公務員試験問題に対応できるようになる。					
〔到達目標〕 ・多種多様な生物や生物現象に関する概念や規則性を把握し、生物の基本事項について、説明したり分類したりすることができる。					
〔成績評価の方法・基準〕 ・定期試験（80%） ・受講態度（20%）					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
授業計画・内容					
1～9 時間	生物の特徴				
10～18 時間	ヒトの体の調節				
19～27 時間	生物の多様性と生態系				
28～30 時間	問題演習				
〔教材・テキスト等〕 ・実務教育出版自然科学テキスト類一式 ・レジュメ					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	自然科学	授業科目名	化学		
所属	公務員速修学科	開講期間	1 年次 前期		
授業方法	講義	単位数	1	対応 D P	1
担当講師	玉山雄也	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕					
・「化学基礎」の内容を原則として、身近な物質に関する原理・法則を理解し、公務員試験問題に対応できるようになる。					
〔到達目標〕					
・身近な物質に関する原理を把握し、化学の基本事項について、説明したり分類したりすることができる。 ・身近な物質に関する法則を把握し、化学現象について、計算を用いて結果を予測することができる。					
〔成績評価の方法・基準〕					
・定期試験（80%） ・受講態度（20%）					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
授業計画・内容					
1～ 9 時間	化学と人間生活				
10～18 時間	物質の構成				
19～27 時間	物質の変化とその利用				
28～30 時間	問題演習				
〔教材・テキスト等〕					
・実務教育出版自然科学テキスト類一式 ・レジュメ					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	自然科学	授業科目名	物理		
所属	公務員速修学科	開講期間	1 年次 前期		
授業方法	講義	単位数	1	対応DP	1
担当講師	佐々木友香	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕					
・「物理基礎」の内容を原則として、物体の運動や身近に起こる現象を理解し、公務員試験問題に対応できるようになる。					
〔到達目標〕					
・身近に起こる現象を把握し、物理の知識を用いて、説明したり、設問に解答できる。 ・物体の運動等の法則を理解し、計算を用いて測定できる。					
〔成績評価の方法・基準〕					
・定期試験（80%） ・受講態度（20%）					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
授業計画・内容					
1～14 時間	物体の運動とエネルギー				
15～28 時間	様々な物理現象とエネルギーの利用				
29～30 時間	問題演習				
〔教材・テキスト等〕					
・実務教育出版自然科学テキスト類一式 ・レジュメ					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備考〕					

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	自然科学		授業科目名	地学		
所属	公務員速修学科		開講期間	1 年次 前期		
授業方法	講義		単位数	1	対応 D P	1
担当講師	杉山了三	一般教員	分類	必修		
〔授業のねらい・概要〕 ・「地学基礎」の内容を原則として、地球や地球を取り巻く環境に関する原理や法則を理解し、公務員試験問題に対応できるようになる。						
〔到達目標〕 ・地球や地球を取り巻く環境に関する原理や法則を把握し、地学の基本事項について、説明したり分類したりすることができる。						
〔成績評価の方法・基準〕 ・定期試験（80%） ・受講態度（20%）						
〔授業時間外に必要な学修内容〕						
授業計画・内容						
1～14 時間	地球のすがた					
15～28 時間	変動する地球					
29～30 時間	問題演習					
〔教材・テキスト等〕 ・実務教育出版自然科学テキスト類一式 ・レジュメ						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	自然科学		授業科目名	数学		
所属	公務員速修学科		開講期間	1 年次 前期		
授業方法	講義		単位数	2	対応 D P	1、3
担当講師	伊藤千雅・玉山雄也	一般教員	分類	必修		
〔授業のねらい・概要〕 ・「数学Ⅰ」「数学A」の基本的な法則を理解し、計算技能及び図形の性質の理解を習熟させることで、事象を数学的に考察し処理することができ、それらを活用して公務員試験問題にも対応できるようになる。						
〔到達目標〕 ・それぞれの単元について、その特徴を理解し、事象を数学的に捉えることができる。 ・既習の定理や計算の方法と関連付けながら、問題を解決することができる。						
〔成績評価の方法・基準〕 ・定期試験（80%） ・受講態度（20%）						
〔授業時間外に必要な学修内容〕						
授業計画・内容						
1～10 時間	数と式					
11～20 時間	二次関数					
21～30 時間	図形と計量					
31～40 時間	図形の性質					
41～60 時間	問題演習					
〔教材・テキスト等〕 ・実務教育出版自然科学テキスト類一式 ・レジュメ						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	自然科学		授業科目名	自然科学演習		
所属	公務員速修学科		開講期間	1 年次 前期		
授業方法	演習		単位数	1	対応 D P	1
担当講師	佐々木友香・玉山雄也 伊藤千雅・杉山了三	一般教員		分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕						
・これまでに習得した自然科学4科目（物理・化学・生物・地学）の基礎知識を基盤とし、過去問や実践的な問題の演習と解説を繰り返すことで、試験に対応できる応用力と得点力を養う。						
〔到達目標〕						
・自然科学4科目の重要語句や基本概念を正確に理解し、各自の弱点を克服できる。 ・出題傾向を把握し、限られた時間内で各科目の演習問題を的確に解くことができる。						
〔成績評価の方法・基準〕						
受講態度（100%）						
〔授業時間外に必要な学修内容〕						
授業計画・内容						
1～ 8 時間	物理問題演習					
9～16 時間	化学問題演習					
17～23 時間	生物問題演習					
24～30 時間	地学問題演習					
〔教材・テキスト等〕						
・実務教育出版自然科学テキスト類一式 ・プリント						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	一般知能	授業科目名	判断推理		
所属	公務員速修学科	開講期間	1 年次 前期		
授業方法	講義	単位数	2	対応 D P	1
担当講師	玉山雄也	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕					
・各分野の代表的な出題パターンの解法を学び、限られた時間内で正確に正答を導き出す実戦力を身につける。					
〔到達目標〕					
・論理的思考を要する問題において、条件を適切に整理し、正しく推論することができる。					
・空間把握を要する問題において、図形のきまりや特徴を理解し、イメージを正しく具体化することができる。					
〔成績評価の方法・基準〕					
・定期試験（80%）					
・受講態度（20%）					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
授業計画・内容					
1～15 時間	論理的思考				
16～30 時間	空間把握				
〔教材・テキスト等〕					
・実務教育出版一般知能テキスト類一式					
・レジュメ					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	一般知能		授業科目名	数的推理		
所属	公務員速修学科		開講期間	1 年次 前期		
授業方法	講義		単位数	2	対応 D P	1
担当講師	玉山雄也	一般教員	分類	必修		
〔授業のねらい・概要〕						
・数学的な基礎知識の復習から実戦的な解法パターンの解法までを学び、文章から状況を正しく把握して論理的に数式を組み立てる思考力を身につける。						
〔到達目標〕						
・整数に関わる問題において、数の性質や決まりを理解し、適切な法則を用いて効率よく計算・解答できる。						
・方程式の文章問題において、問題文の条件から未知数を適切に設定し、正しく立式して解を導き出すことができる。						
・場合の数と確率の問題において、重複や漏れのない適切な数え上げや公式を用いた計算ができる。						
〔成績評価の方法・基準〕						
・定期試験（80％）						
・受講態度（20％）						
〔授業時間外に必要な学修内容〕						
授業計画・内容						
1～ 8 時間	整数に関わる問題					
9～22 時間	方程式の文章問題					
23～30 時間	場合の数と確率					
〔教材・テキスト等〕						
・実務教育出版一般知能テキスト類一式						
・レジュメ						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	一般知能	授業科目名	資料解釈		
所属	公務員速修学科	開講期間	1 年次 前期		
授業方法	講義	単位数	1	対応 D P	1
担当講師	玉山雄也	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 ・基礎知識の習得から始め、選択肢の効率的な検証方法を指導し、煩雑な計算に頼らずに素早く正答を導き出す実践的な処理能力を身につける。					
〔到達目標〕 ・与えられた表やグラフの特徴を的確に把握し、必要な数値を正確かつ迅速に抽出・整理することができる。 ・分数の大小比較や概算などのテクニックを用い、煩雑な計算を行わずに選択肢の正誤を効率よく検証できる。					
〔成績評価の方法・基準〕 ・定期試験（80%） ・受講態度（20%）					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
授業計画・内容					
1～6 時間	資料解釈に関わる基礎知識				
7～24 時間	資料毎に特有の検証方法				
25～30 時間	問題演習				
〔教材・テキスト等〕 ・実務教育出版一般知能テキスト類一式 ・レジュメ					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	一般知能	授業科目名	一般知能演習		
所属	公務員速修学科	開講期間	1 年次 前期		
授業方法	演習	単位数	1	対応 D P	1
担当講師	玉山雄也	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕 ・これまでに習得した一般知能3科目（判断推理・数的推理・資料解釈）の基礎知識を基盤とし、過去問や実践的な問題の演習と解説を繰り返すことで、試験に対応できる応用力と得点力を養う。					
〔到達目標〕 ・一般知能3科目の様々な解法パターンを正確に理解し、各自の弱点を克服できる。 ・出題傾向を把握し、限られた時間内で各科目の演習問題を的確に解くことができる。					
〔成績評価の方法・基準〕 ・受講態度（100%）					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
授業計画・内容					
1～12 時間	判断推理問題演習				
13～24 時間	数的推理問題演習				
25～30 時間	資料解釈問題演習				
〔教材・テキスト等〕 ・実務教育出版一般知能テキスト類一式 ・プリント					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	試験対策	授業科目名	答練		
所属	公務員速修学科	開講期間	1 年次 前期		
授業方法	実習	単位数	4	対応 D P	1、3、5
担当講師	玉山雄也	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕					
・これまでに学習した内容を用いて、応用問題が出題されたときにも自ら考え解答を導き出せるようになる。					
〔到達目標〕					
・各授業で学んだことを活かして、問題に解答することができる。					
・応用問題が出題された際に、学んだことを元に問題内容を理解し、解答を推測することができる。					
〔成績評価の方法・基準〕					
・受講態度（100%）					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
授業計画・内容					
1～ 120 時間	本試験過去問演習				
〔教材・テキスト等〕					
・本試験過去問					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	試験対策	授業科目名	模擬試験		
所属	公務員速修学科	開講期間	1 年次 前期		
授業方法	実習	単位数	3	対応 D P	1、3、5
担当講師	玉山雄也	一般教員	分類	必修	
〔授業のねらい・概要〕					
・これまでに学習した内容を用いて、応用問題が出題されたときにも自ら考え解答を導き出せるようになる。					
〔到達目標〕					
・各授業で学んだことを活かして、問題に解答することができる。					
・応用問題が出題された際に、学んだことを元に問題内容を理解し、解答を推測することができる。					
〔成績評価の方法・基準〕					
・模擬試験平均得点（100%）					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
授業計画・内容					
1～90 時間	模擬試験				
〔教材・テキスト等〕					
・実務教育出版実施 模擬試験					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					

(様式1)

授業シラバス

MCL盛岡公務員法律専門学校

分野	試験対策	授業科目名	総合演習		
所属	公務員速修学科	開講期間	1 年次 前期		
授業方法	演習	単位数	5	対応 D P	1、3、5
担当講師	玉山雄也	一般教員	分類	選択	
〔授業のねらい・概要〕					
・これまでに学習した内容を用いて、応用問題が出題されたときにも自ら考え解答を導き出せるようになる。					
〔到達目標〕					
・各授業で学んだことを活かして、問題に解答することができる。					
・応用問題が出題された際に、学んだことを元に問題内容を理解し、解答を推測することができる。					
〔成績評価の方法・基準〕					
・受講態度（100%）					
〔授業時間外に必要な学修内容〕					
授業計画・内容					
1～ 150 時間	問題演習等				
〔教材・テキスト等〕					
・本試験過去問					
・プリント					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					